

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月1日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172901852		
法人名	株式会社 ケアジャパン		
事業所名	グループホーム 永山亭		
所在地	北海道旭川市永山4条2丁目16 (電話) 0166-47-7211		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年2月27日	評価確定日	平成20年3月11日

## 【情報提供票より】(平成20年1月30日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年9月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	21人	常勤	15人, 非常勤 6人, 常勤換算 13.1人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000円	その他の経費(月額)	18,000~26,500円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300円	昼食	400円
	夕食	500円	おやつ	100円
	または1日当たり		1,300円	

### (4) 利用者の概要(1月30日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	16名
要介護1	1名	要介護2	4名		
要介護3	8名	要介護4	4名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 83.5歳	最低	62歳	最高	97歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	都丸内科クリニック・蒔田歯科
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

幹線道路のほど近い場所に位置し、スーパーや病院が点在するなど利便性にも優れています。すぐ横には大学があり自然環境においても恵まれた地にあるホームです。1階と2階の各ユニットごとに小型犬が居たり、庭にはバードテーブルが設置され入居者が癒され優しい雰囲気がありました。家族アンケートの通り職員が明るく生き生きしており、入居者への言葉かけや対応もその方たちのペースで行われ食事時間などもゆったりとしており、落ち着いていました。家族からの同意を受け終の棲家としてその人らしく安心して暮らせるよう、ターミナルケアにも対応していました。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題として、家族への金銭管理についての報告については金銭出納簿として毎月末に家族に送られ改善がなされていました。しかし、職員のスキルアップ研修・近隣住民と交流などの取り組みについては、大きな成果に結びつけるように取り組みを期待します。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の外部評価の結果については改善の機会として取り組むことになっており、全職員が評価の意義を確認し合い理解が深められています。また、自己評価の取り組みについて改善の機会をさらに確保されるよう期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	今年度は2回開催されていました。これまでの運営推進会議の内容としては入居者の状況報告や行事の紹介、そして意見交換などがテーマとなっていますが、今後は地域に根ざしたホーム運営に資するため運営委員の幅広い招集などが望まれます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	普段から家族の来所時には気軽に話しを伺う機会が設けられており、毎月発行の便りでは日常の暮らしぶりや通院状況、外出時のスナップ写真、またコメントも付け加えてあり職員が毎月交替で作成し工夫された内容になっています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会へ入会されており、しかし会員が比較的若いために、お年寄りには参加しづらい行事もありますが、敬老会への参加や地域のお祭り、また近くの大学から案内をいただき、学園祭にも参加させてもらっています。現在、試作中ですが地域住民向けの新聞を配布し、更なる連携を実現し地元の人々との交流が図られようとしています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	安心とゆとりある生活・明るく楽しい生活などの理念を掲げホール内に掲示し、事務室には入居者に対する方針が掲げられております。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常のケアに対する話し合いが中心に行われている。		日常のケアを検証するなどして職員間で理念の意義や役割を浸透するための取り組みを期待します。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会には加入し散歩時の挨拶や敬老会に参加しています。		現在、地域住民向けの「永山亭新聞」を作成中であり、町内会など戸配をし広報活動に取り組み交流や連携を広める予定となっています。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日々の業務の対応に追われる中で管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義の理解を少しずつ進めている。		今後は管理者が率先し、自己評価及び外部評価の意義をより理解し、全ての職員とともに評価を活かした取り組みの実践を期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>これまでの運営推進会議の内容はホームの概要や入居者の状況などの説明と意見交換など、2回の開催でした。</p>		<p>今後においても定期的な運営推進会議を開催し、より幅の広い人々の招集で具体的な内容についての話し合いを行い、サービスの向上に活かしていくことが期待されます。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当者と相談や報告について取り組んでいました。</p>		<p>事業所は市との連携の重要性を踏まえ、今後は更にサービスの質の向上につながる相談や研修の機会の確保を検討していくことが望まれます。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来所時には健康状態や日常の様子を伝えたり、毎月発行の便りでは毎月違った職員がコメントを付けて報告されています。また転倒などされた場合には職員から施設長へ、そして施設長から家族への報告が迅速に行われています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来所時に気軽に話せる雰囲気づくりに全職員が取り組み、家族会からの要望や意見を運営に反映されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開設以来、ユニット間での職員異動は1回にとどめるなど馴染みの関係を重視し、入居者に影響を与えないように配慮する取り組みをしています。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	申送りやカンファレンスなどで職場内研修や外部研修参加を奨励されている。		今後は他施設との交流や職員個々のスキルアップにつながる研修に積極的な参加を期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	特養などにもネットワークを持つ施設長は、同業者との交流の機会をつくりケアサービスの質を高めていく取り組みがされている。		今後は更に多くのグループホームとの交流や各研修会などが計画されている。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族から可能な限りの情報を収集し、全職員で共有し不安を解消する取り組みがなされています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	その方々の生活歴の中から入居者の得意な面を取り入れ、墨絵や手芸等、本人から学び共に支え合う関係を築かれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員も入居者と一緒に楽しんで、切り絵などのレクリエーションをする中で一人ひとりの思いや希望を把握して、犬の世話や散歩・買い物などで外出の機会を多く作ったり、趣味への支援や嗜好品の把握などの取り組みがされています。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は今年よりセンター方式を元に作成されており、全職員が参加し多くの時間をかけプランの作成に努めています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>半年毎の見直しが行われています。また家族の要望や入居者の状態変化に応じて、現状に即した介護計画の見直しも行われています。</p>		<p>個人毎のファイルを見やすくまとめることで、必要時の確認やプランの見直しも迅速に対応できるような工夫が望まれます。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>可能な限り、家族の状況に応じて自宅への送迎、通院の支援や買い物など柔軟に行われています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	訪問診療もされており医師と直接の電話連絡も取れ、週一回の訪問看護にて健康管理の指導を受けるなどの医療機関の支援も行われています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について入居者家族から同意を確認した上で医療機関と連携を密にして職員間で共有されています。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけが行われ、誘導の際の対応にも配慮されています。また職員には入職時に個人情報保護の厳守を徹底されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の生活リズムに合わせ、犬の世話や買い物などの外出支援で入居者の希望に沿った支援に努めています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と職員が一緒になって、ゆったりと食事しています。また自然な会話で一層楽しい雰囲気を感じられます。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的には決まっていますが、入居者の要望に応じ柔軟に対応しています。またヒバ造りのお風呂がゆったりと楽しめる雰囲気を出しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	墨絵や手芸などその人なりの楽しみごとを、入居者と職員が何時も一緒に行い、とても明るい雰囲気で支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員の付き添いや見守りのもと、買い物や散歩など行きたい場所への外出支援が行われています。		冬期間の外出頻度が少ないと思われますので、今後は近隣にある社会資源などの活用で外出の機会を増やすことが望まれます。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を掛けないケアに取り組み、入居者に心理的圧迫を与えないよう見守りに配慮しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時の連絡網・消火設備についても点検され、年2回の避難訓練も行われています。</p>		<p>今後の計画において、地域の方々にも一緒に避難訓練に参加してもらえるような取り組みを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分摂取量が記録され、医師からの助言のもと栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、工夫もしています。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家庭的な空間の中で入居者と職員がゆったりとした時間を過ごしている。また職員と共に趣味の作品をつくりホーム内に数多く展示され和やかな雰囲気をつくり出しています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ゆったりとした居室で入居者はそれぞれ自分の家具などを持ち込んでおり、個性的な部屋となっています。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。